

# 情報保障にかかわるアンケート調査における全体図

## (1) 全聴教としての役割と「情報保障にかかわるアンケート調査」の位置づけ

セルフヘルプグループ（SHG）としての全聴教が、全国各地の様々な職場で勤務されているろう・難聴の教職員一人ひとりがもつ価値や役割（エンパワメント）を形成し、かつ、各々の職場環境の改善を目指すことのできるデータを提供するために、「情報保障にかかわるアンケート調査」を実施する。

以下の表は、より良い職場環境を目指すろう・難聴教職員の個々の動きと全聴教として動きを区分化されたものである。「情報保障にかかわるアンケート調査」の位置づけとして該当するものを**赤字**で表示してある。

※ セルフヘルプグループ：共通する問題を抱える人々が主体的に集まり、交流や研修を通して、助け合う場所のこと。なお、障害のある教職員が主体となって運営し、SHG的な役割を担うものは全聴教のみだといわれている。

	①態度・価値・信念	②共同的体験	③知識と技能	④行為（アクション）
個々	a.全聴教の企画に参加 b.職場の苦労体験の共有 c.課題の共同分析 (第30回シンポジウム 第二分科会で実践済)	a.職場改善事例の共有 b.職場改善に必要な事柄 (方針)を共有 c.校内および地域での 仲間作り(宮城の事例)	a.関連法令の活用法 b.校内の労働安全衛生 管理体制 (衛生委員会等の活用) c.自治体教職員課の活用 d.手話通訳者等の方策 e.感情的にならない交渉 スキル f.外部の抑圧や否定から のセルフケア g.リーダーシップスキル	a.教職員課や管理職との 交渉・要望 b.校内理解啓発 c.組織体制の整備 (埼玉の衛生委員会の事例) d.フォーマルとインフォ ーマルのコミュニケーション 環境整備
全聴教	a.現勢調査結果の提供・ 解説 <b>b.関連する現状や課題の 情報提供</b> <b>c.職場の苦労体験の提供</b>	<b>a.職場改善事例の提供</b> b.職場改善の方針の提供 c.仲間作りの支援	a.様々な知識や技能を 習得する研修の開催 b.当事者リーダー養成 研修の開催 c.カウンセリング的対応 の窓口の設置	a.自治体や文科省への 要望・提案 b.要望書等様式の提供 c.啓発や組織体制に 関する事例の提供

(松崎,2024 全聴教オンライン研究会より)

### ① 態度・価値・信念の形成

スティグマの対象となり、否定的な評価を受けて力が脆弱化・無力化した状態を脱却し、自分たちのために何ができるのかを考える。

### ② 共同的体験の確認

体験を出し合ったり、必要な技術を学んだり、構成員の感情を受容したりして共同意識や集団意識を持ち、問題を断ち切ろうとする。

### ③ 批判的思考のための知識と技能

自分たちが抱えている問題の内的側面と外的側面について批判的に考え、必要な知識や技能を身につける。

### ④ 行為（アクション）

現状をより良く変えるために新たな行動（アクション）を起こす。

(三原,1999 効果的なセルフアドボカシーのアプローチ)

## (2) 職場環境や条件にあわせた「情報保障にかかわるアンケート」の実施

「情報保障にかかわるアンケート」の実施をするにあたって、以下の職場環境の事例が考えられる。

1. 以前から聴覚障害教職員が働いており、情報保障が整っている職場環境（ろう学校）
2. 最近、聴覚障害教職員が働くようになり、情報保障が求められている職場環境（特別支援学校）

1のろう学校を対象にしたアンケート調査は、①情報保障における現状や課題の情報提供（学校単位）、②職場改善事例の提供、の2点に焦点をあてる。1のアンケート調査の目的は、職場環境を改善した事例を集め、様々な職場で働いているろう・難聴の教職員に情報を提供していくことである。学校を対象に取材を行い、会報やホームページに掲載することも考えられる。

<アンケート対象> ろう学校 ~~（個人でも良い。同校教員が複数いた場合、合わせて集約する。個人名は不要。）~~

<アンケート項目> ①学校名

②勤務されている聴覚障害教職員（身体障害者手帳を有する教職員）の数

③貴校で初めて聴覚障害教職員が配属された年

④校内の情報保障の有無と手段（現在の取組／複数回答可）

- ・職員会議（手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）
- ・学部会（手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）
- ・分掌、委員会（手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）
- ・朝の打ち合わせ  
(手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他)
- ・校内研修、研究会  
(手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他)
- ・保護者面談（手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）
- ・実習反省会、外部との打ち合わせなど  
(手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他)

⑤校外の情報保障派遣および機器整備の有無（現在とこれまでの取組）

- ・初任者研修や経験者研修  
聴覚障害教職員の受講（あり・なし・不明）  
情報保障の配慮（あり・なし・不明）  
(手話通訳派遣・PC要約派遣・音声認識機器・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他)
- ・認定講習や校外研修  
聴覚障害教職員の受講（あり・なし・不明）  
情報保障の配慮（あり・なし・不明）  
(手話通訳派遣・PC要約派遣・音声認識機器・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他)

⑥他のろう学校や特別支援学校に紹介したい情報保障にかかわる取組事例（自由記述）

- 災害発生時の緊急伝達システムの整備
- 手話通訳者の採用（臨時教員、非常勤の活用、会計年度任用職員などの立場で）
- 教員対象の手話研修の実施
- 情報保障委員会あるいは情報保障部会の設置
- 廊下や踊り場における安全対策ミラーの設置
- 聴覚障害教職員がろう通訳として対応
- その他（自由記述）

※ ぜひ紹介したい事例があった場合、当会会報やホームページに掲載するための原稿を依頼（もしくは取材の依頼）するかもしれないことを文面で伝える。

2の特別支援学校を対象にしたアンケート調査は、①情報保障における現状や課題の情報提供（個人単位）、②職場の苦勞体験の提供、の2点に焦点をあてる。2のアンケートの目的は、個々のろう・難聴の教職員が直面している課題を把握することである。個人を対象にアンケートを行い、ろう学校の職場環境と特別支援学校の職場環境の違いや課題を明確化することを目指す。それによって、個々のニーズと対応の仕方が変わってくるだろう。

<アンケート対象> 個人

<アンケート項目> ①個人名

②学校名

③聴力の程度／主なコミュニケーション手段

④自分以外の聴覚障害教職員（身体障害者手帳を有する教職員）の数

⑤校内の情報保障にかかわる質疑応答

『情報保障』とは何かという説明文を挿入する。

・配属されたときから情報保障があったかどうか

（あった・なかった）

・（あったと回答した人へ）なぜ情報保障があったか

（前例があったから・理解者がいたから・その他）

・（あったと回答した人へ）情報保障の手段は何か（複数回答可）

（手話通訳・PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）

・（なかったと回答した人へ）情報保障は必要かどうか

（必要だ・必要ではない）

・（必要だと回答した人へ）情報保障がなくて困ったことは何か（複数回答可）

（朝の打ち合わせ・会議・研修／研究会・保護者面談・その他→困ったことはない）

・（必要ではないと回答した人へ）自分のきこえについて伝えたことはありますか

（ある・ない）

⑥校外の情報保障派遣および機器整備の有無

・初任者研修や経験者研修

情報保障の配慮（あり・なし）

（手話通訳派遣・PC要約派遣・音声認識機器・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）

・認定講習や校外研修

情報保障の配慮（あり・なし）

（手話通訳派遣・PC要約派遣・音声認識機器・ロジャー／ワイヤレスマイク・その他）

⑦職場環境の改善にむけた行為の有無

・自分のきこえについて配慮を求めたことはありますか。

（ある・ない）

・（あると回答した人へ）どのようなことを求めたか、記述してください。

5W1H（どの時期に・どの場所（どの場面）で・だれに・どのような理由で・どのような内容を・どのようにして）

例文 ●●の時に校長室で校長先生、教頭、教務主任の3名に●●の理由で

●●の内容を、文書の形で求めた。

・（あると回答した人へ）上記のことを求めた結果、どうなりましたか。

（改善できた・一部改善できた・改善できなかった）

・（一部改善できた、改善できなかったと回答した人へ）

周囲の聴覚障害に対する理解不足

予算の問題

設備の問題

人材の問題

その他（自由記述）

・（ないと回答した人へ）配慮を求めなかった理由は何か、記述してください。

(3) 「情報保障にかかわるアンケート」実施までの道筋（プロセス）

2024年3月 現勢調査の実施 → 会員のネットワークの形成

7月 現勢調査の集計・考察のまとめ

8月 現勢調査の報告（定期総会）／全日聾学校校長会への連絡  
情報保障にかかわる調査アンケートの実施

↓  
会員配布（ネットワーク）

↓  
各ろう学校へ配布

○月 情報保障にかかわる調査アンケートの集計・考察のまとめ

→ 集計結果および考察をどのように会員に伝えるか（会報 or 定期総会）

○月 事例のピックアップ／原稿や取材の依頼  
会報やホームページに掲載。

情報保障にかかわる  
調査アンケートの  
目的や意義をPR

